

早春のワルツ

詩曲 鈴木こうせい

♩=86



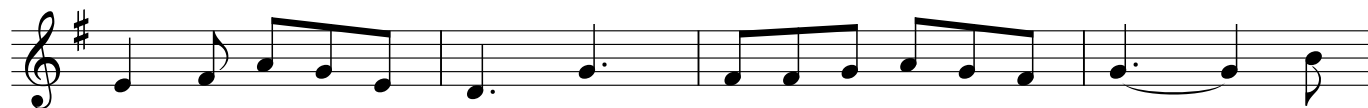
よぎるかぜにそーと いきをかいたらー
いそぐかぜと いっしょに かけていったらー



しろいかぜになつて そらにきえたー
はーるはどこにも きてはいない とー



またかけつこななどを したいのですかー
またかけつこななどを したいのですかー



ゆるるマフラーに とまったりしてーは
ゆるるマフラーを とばしたりしてーは



るがすみのそらは まだみえないけれど
るがすみのそらは まだみえないけれど



しろいかぜのあとにいつかはーるがー
しろいかぜのあとにいつかはーるがー

※

二
いそぐ風といっしょに
かけていったら
春はどこにも
来てはいないと
またかけつこななどを
したいのですか
ゆるるマフラーを
とばしたりして

※
春がすみの空は
まだ見えないけれど
白い風のあとに
いつか春が

一
よぎる風にそっと
息をかけたなら
白い風になつて
空に消えた
またかけつこななどを
したいのですか
ゆるるマフラーに
とまったりして

早春のワルツ

詩曲 鈴木こうせい